

御田小だより

～ みんな元気 たのしい 御田小 ～



港区立御田小学校
学校だより 特別号

発行者 御田小学校長
小林 功明

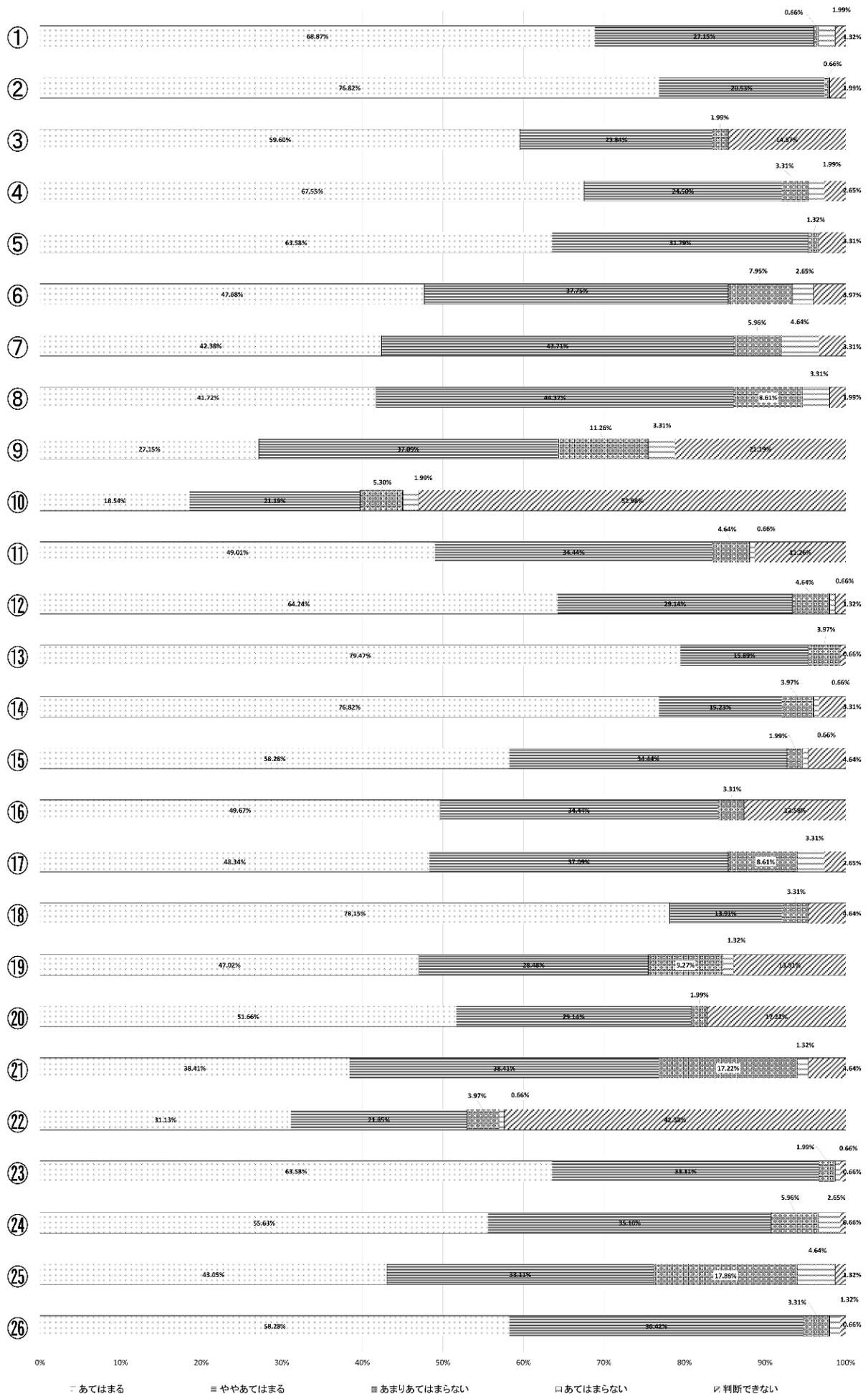
令和4年度学校教育アンケート結果について

昨年12月には、標記のアンケートにご協力いただきありがとうございました。集計結果についてお知らせします。

【質問一覧】

大項目	番号	質問項目
学校運営	(1)	学校は各種便り、ホームページなどで学校の情報(学校経営・学年経営・学校行事)をよく配信していますか。
	(2)	電話をかけたときや、学校を訪問した際の教職員の対応は丁寧ですか。
	(3)	教職員は、PTAや地域の活動に協力的ですか。
学習指導・生活指導	(4)	子供たちは、「国際科」の授業を楽しく受けていますか。
	(5)	学校は、地域の人材を招いたり、地域を訪問したりして、地域を教材とした学習に積極的に取り組んでいますか。
	(6)	子供たちは、学習に意欲的に取り組んでいますか。
	(7)	子供たちは、学校のきまりや約束を守って生活していますか。
	(8)	子供たちは、気持ちよく挨拶をし、服装などの身だしなみは整っていますか。
	(9)	学校には、いじめは絶対に許さないという風土が築かれ、未然防止や早期発見・解決に取り組んでいますか。
	(10)	学校は、不登校の予防に取り組んでいますか。サポート体制が整っていますか。
徳道	(11)	学校は、道徳の授業や日頃の指導を通して、子供たちに道徳的な心を育てていますか。
学校行事	(12)	子供たちは、入学式や卒業式、各学期の始業式・終業式などの儀式的な行事に真剣に取り組んでいますか。
	(13)	子供たちは、御田芸術祭などの文化的行事に意欲的に取り組んでいますか。
	(14)	子供たちは、MITA スポーツフェスティバル2022などの体育的行事に意欲的に取り組んでいますか。
安心安全	(15)	避難訓練や安全の指導などで、子供の安全に対する意識が育っていますか。
	(16)	学校は、警察署などの関係機関、保護者、地域と連携して子供たちの安全を守ろうとしていますか。
	(17)	学校内は、清潔で、学習にふさわしい落ち着いた環境になっていますか。
	(18)	学校給食は、安全、栄養、味覚のことを考え、工夫された内容になっていますか。
	(19)	学校施設の安全が確保されていますか。
その他	(20)	教科担任制(3～6年)や少人数指導講師、リーディングアドバイザースタッフ、サイエンスアドバイザー等、複数の教員が子供たちにかかわることは、子供たちの学習意欲や学力の向上につながっていますか。
	(21)	朝読書や読み聞かせなどの教育活動を通して、子供たちに読書の習慣が育っていますか。
	(22)	学校は、特別支援教育について情報提供を行い、特別支援教室「みたルーム」の通級や学習支援員の配置について相談しやすい仕組みを整えていますか。
家庭	(23)	子供の食事や睡眠などについて、健康で規則正しい生活が出来るように努力していますか。
	(24)	家庭で、毎日決まった時間、学習をする習慣を付けようとしていますか。
	(25)	家庭で、子供に本を読む習慣が身に付くような声かけや取り組みをしていますか。
	(26)	学校行事や保護者会などに参加して、学校と連携をして子供を育てるようにしていますか。

R4年度 学校評価アンケート回答結果集計 グラフ



【改善のポイント】

学校運営(質問1～3)

多くの方に、肯定的な回答をいただきました。「(3)教職員は、PTAや地域の活動に協力的か」についても、約80%は肯定的な回答でしたが、「判断できない」との回答が多数ありました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施しつつ、今まで中止となっていたPTAや地域行事を徐々に開催することができました。今後も、教職員一同、PTAや地域の方々と協力して、子供たちのためにできることを行い、活動を盛り上げていきたいと考えています。

学習指導・生活指導(質問4～10)

学習指導では、肯定的な回答を多くいただきました。その中で、「(5)学校は地域人材の活用に積極的に取り組んでいるか」についての質問では、「判断できない」という回答がありました。本校では、特有の地域教材を生かしたり地域の方々に協力していただいたりして「地域の中の学校」という地域とのつながりを大切にした学習を展開しています。また、新たにICTを活用した地域教材や人材の開発・活用も進めています。「(6)子供たちは、学習に意欲的に取り組んでいますか。」についての質問では、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の回答が合わせて10%ありました。御田小学校では、児童の興味関心を引き出し、主体的に学習できるよう学習計画を工夫しています。毎時間の学習では、学習のめあてを明確にし、学習方法を明らかにして児童自らがすすんで問題解決を行い、それぞれの考えを交流することでより深く学べるようにしています。これからも、さらに、授業改善に向けて、授業研究をすすめていきます。

生活指導では、「(9)いじめは絶対に許さないという風土の形成、いじめの未然防止や早期発見・解決に取り組んでいるか」「(10)不登校の予防に取り組んでいるか。」についての質問で、「判断できない」という回答が多くありました。教職員は「いじめは、どの授業、どの学級にも起こりうる」という認識をもち、全教育活動を通して人権教育の推進を図り、いじめの未然防止に努めています。また、毎月1回「学校生活アンケート(聞き取りを含む)」を実施し、早期発見と早期対応を図るための実態把握にも努めています。そして、保護者や関係機関、専門家とも連携して、一人一人の子供が安全に安心して生活できる環境づくりを目指しています。そのような環境をつくることで、不登校の予防の一助にもなると考えています。

特別の教科 道徳(質問11)

「(11)学校は、道徳の授業や日頃の指導を通して、子供たちに道徳的な心を育てているか」については、概ね肯定的な回答を多くいただきました。「判断できない」という回答が約6%ありました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者や地域の方々に道徳授業地区公開講座や学校公開で授業を参観いただける機会が減少したことも原因の一つとして考えられます。学校だよりや学校ブログ等で授業の情報を発信したり、長期休業中に学習した道徳ノートを持ち帰ったりするなど、取り組んだことを家庭と共有できるようにしていきます。

学校行事(質問12～14)

概ね肯定的な回答を多くいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインで実施する行事が今年度もありました。しかし、今年度はMITA スポーツフェスティバル2022や御田芸術祭で、昨年度以上に内容を増やすことができました。制限を設けての実施ではありましたが、その中でも意欲的に活動する子供たちの成長した姿をご覧いただけたのではないのでしょうか。また、ご家庭におかれましては、子供たちの体調管理や当日までの励ましなど、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。

新たな学校生活様式が形成される中で、学校行事の新たな形を模索しつつ、以前までの学校行事に近付けていきたいと考えています。東京都、港区の方針、他校の情報などを収集しながら、可能な範囲で実施できるように努めてまいります。

安心安全(質問15～19)

安心安全の質問15～19では、概ね肯定的な回答を多くいただきました。ただ、「(16)避難訓練や安全の指導などで、子供の安全に対する意識が育っていますか」、「(17)学校内は、清潔で、学習にふさわしい落ち着いた環境になっていますか」、「(19)学校施設の安全が確保されていますか」については、若干、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」、「判断できない」という回答がありました。

学校では毎月、様々な想定での避難訓練を実施しています。交通安全教室、不審者訓練、高学年対象の避難所運営教室など、警察の方や地域の方に子供たちへ直接指導していただく機会を設けています。年2回の「通学路点検」では、教職員、PTA や区の職員の担当者と通学路の安全について点検し、問題点については改善の申請を行っています。また、学校の施設や設備の点検も毎月行っています。校舎内の汚れや破損等があった場合は用務主事や業者と連携し、学校環境を整えるようにしています。

その他(質問 20～22)・家庭(23～26)

「(21)朝読書や読み聞かせなどの教育活動を通して、子供たちに読書の習慣が育っているか」「(25)家庭で、子供に本を読む習慣が身に付くような声かけや取り組みをしているか」の質問では、肯定的な回答が80%を切る結果となりました。読書活動は子供たちにとって、知識や情報を得るだけではなく、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」(文科省「子どもの読書活動推進の取組～子どもの読書活動の推進について～」より)と示されています。学校の教育活動の時間だけで習慣化を図るのではなく、ご家庭でも積極的に読書の時間を取り入れられるよう協力していただき、子供たちが読書習慣を身に付け、国語力を向上させたり、楽しみの基としていけたりするよう、工夫して取り組んでいきます。

「(22)学校は、特別支援教育について情報提供を行い、特別支援教室「みたルーム」の通級や学習支援員の配置について相談しやすい仕組みを整えていますか。」の質問では、肯定的な回答が52%でしたが、判断ができないという回答が40%以上でした。特別支援教育については、「通常の学級の中で、特別な支援を必要とする児童に効果的な指導・支援を行うためには、対象となる児童・生徒の保護者のみならず、全ての保護者等に対して、特別支援教育の重要性や特別支援教室などの教育支援体制について理解を得ることが重要である。」(東京都「特別支援教室運営ガイドライン」)と示されています。今後、特別支援教育の利用や申し込みに関して、学校だよりへの掲載に加えて、個別相談会を実施していることや指導内容に関することを、配布物、ホームページ、保護者会等で広く知らせていきます。

全体を通して

今年度は、感染症のその時々状況に応じて開催方法を工夫することで、昨年度に比べて学校行事や学年行事等の実施が可能となりました。保護者の皆様には、たくさんのご協力をいただき、感謝しております。ありがとうございました。今後も子供たちの安全を最優先に考え、教育活動を行っていきます。また、子供たちの心の安定も大事に考えています。ご家庭で気がかりに思われることは、ぜひご連絡ください。子供たちにとって学校が安心できる場所になるよう、誠心誠意対応していきます。

保護者の皆様からの貴重なご意見や温かな励ましのお言葉は、今後の学校運営に向けての力となりました。学校の教育活動の改善に生かしてまいります。今後もどうぞよろしく願いいたします。